

大分みらい信用金庫

大分みらい信用金庫を訪問して、長時間労働削減の取り組み、女性の活躍推進や両立支援対策等についてご説明をいただきました。



⓪ 関理事長へ南保大分労働局長から要請書をお渡ししました。

- * 社員数：390人（男性231人、女性159人…2016年7月1日現在）
- * 事業内容：金融業（協同組織金融機関）

■ 日時：平成28年8月4日（木）

■ 訪問者：大分労働局長

南保 昌孝

大分労働局 雇用環境・均等室

雇用環境改善・均等推進監理官

吉野 栄次

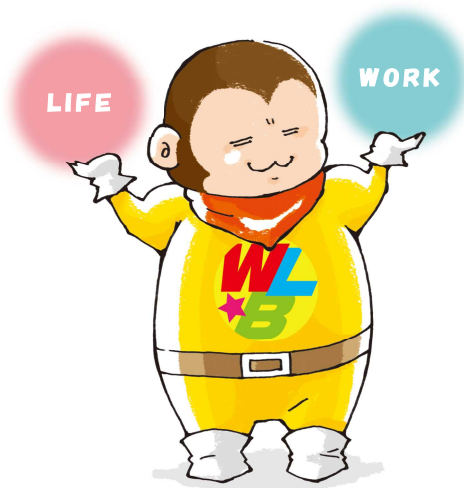
■ 面談者：大分みらい信用金庫 理事長

関 啓二 氏

■ 説明いただいた内容

● 長時間労働削減や年休取得促進の取り組み

- (1) ノー残業デーの導入
 - ・毎月第2木曜日を指定
- (2) 労働時間管理の徹底
 - ・時間外勤務指示・命令・申請票及び鍵管理機施解錠時間記録表等の厳格な運用
- (3) 毎月1回健康相談を開催、月45時間以上の時間外勤務従事者に対し、産業医によるヒアリング、カウンセリングを実施
- (4) 部室店長が年2回部下職員へカウンセリング面接を実施
 - ・カウンセリングのスキルや精度を高めるため、幹部職員を対象に毎年カウンセリング研修を実施
- (5) 長期連続休暇9日間の他、リフレッシュ休暇3日間の取得を促進
 - ・昨年度の有給休暇取得率：55.1%
 - ・長期連続休暇取得率：ほぼ100%
- (6) 期首に年間の休暇取得計画を立案・提出させ、半期ごとに取得状況を調査



● 多様な働き方の導入

- (1) 1ヶ月及び3ヶ月単位の変形就業時間制の導入
- (2) フレックスタイム制の導入

● 女性の活躍推進

【目標】

- ・管理職に女性を積極登用
 - ・総合職に占める女性の割合を15%以上
- (1) 女性職員を対象に管理職育成を目的としたキャリア研修の実施
 - (2) 女性渉外係を積極登用
 - (3) ロールモデルの普及
 - (4) 管理職登用論文試験のテーマを「当金庫の女性活躍推進にかかる具体的な課題と取組み」とし、管理職の意識改革を図る



● 両立支援対策

- (1) 配偶者の分娩時にも特別休暇を新設
- (2) 女性の育児休業取得率100%維持とともに、男性の育児休業取得を啓発
- (3) 育児休業職員のスムーズな復帰に向けた研修の実施
- (4) 育児短時間勤務制度の活用

<労働局よりひとこと>

長時間労働の削減から両立支援対策まで、幅広くワーク・ライフ・バランスに関する事項についてお聞きすることができました。

特に若年層や女性が働きやすい環境づくりに積極的に取組まれており、中でも女性の活躍推進については、渉外係に女性を積極的に登用するなどの意欲的な取組みを進められています。

今後は“くるみん認定”を目指していただけるとのことで、引き続き目標達成に向けた取組みを期待しています。